

4月21日(土)
18:30~21:00

浦和コミュニティセンター
9F 第15集会室
JR 浦和駅東口・パルコ9F

内容：

I部 報告

埼玉県内に避難中の被災者向けに実施したアンケートから

II部 ゲストトーク

被災者の孤立を防ぐ～地域支援ネットワークづくりの現場から～

お話：大塚耕太郎さん

岩手医科大学医学部 災害・地域
精神医学講座特命教授、岩手県こ
ころのケアセンター副センター長

III部 リレートーク

支援から協働へ ～長期化する避難生活
にどう向きあうか？

埼玉県内で避難生活を送っている方、県
内で被災者支援活動を行なっている団体

参加費：無料

震災「支援」の今とこれから

……支援から協働へ

大地震・原発事故が発生してから
2度目の春がきました。

いまま、埼玉県内に4700人を超える方々が
避難所、公営住宅や民間のアパートなどで
暮らしていらっしゃいます。(復興庁 3/8現在)

家族と離ればなれに暮らさなければいけない方も多く、
慣れない都会での暮らして、
なかなか外に出られなかったり、
必要な情報が届かなかったり、
精神的にも経済的にもきびしい状態が続いています。

また、時間の経過とともに、
仕事、子ども、住居など、
避難されて来ている方々の抱えている課題も、
それぞれ違ってきており、
「避難者」とひとくくりにはできない状況が
生まれて来ています。

一方、
被災者・避難者の方々自身が動き出し、
埼玉の住民と一緒に、
訪問したり、交流会を開くなど
地域での活動が、
県内各地で生まれています。

支援から、地域での協働へ。
長期化・多様化する避難生活で、
あらためて、「支援」の中身が問われています。

もう一度、避難してこられた方々の
声をじっくりうかがって、
ゆっくり考える時間を持ちたいと思います。

「いまどうなっているだろう」「何かできないだろうか」
「気にはなっていたのだけれど」……という方、
ぜひご参加ください。どなたでも参加できます。
お待ちしております。

主催：震災支援ネットワーク埼玉 (SSN) 後援：(社) 埼玉労働者福祉協議会、埼玉青年司法書士協議会

連絡先：震災支援ネットワーク埼玉 048-829-7400

※支援活動等で不在のため、お電話に出られない場合があります。その際はFAX・メール(下記)をご利用ください

申込み 下記をご記入の上、メール ssn@festa.ocn.ne.jp または FAX 048-829-7400 までお送りください。

①お名前

②所属 (あれば)

③メール

④電話番号

⑤お住まいの自治体

⑥ひとこと

……当日参加も可能ですが、なるべくお申し込みをお願いします。